参考５

平成２０年１０月３省合同審議会

既存化学物質審査物質（人健康影響・生態影響）に係る分解性・蓄積性データ

既存化学物質安全性点検データ

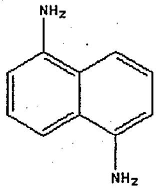
データの説明 分解性 濃縮性

経済産業公報(平成13年1月5日以前は通産省公報)公表内容

公表名称	公表年月日	点検結果
1，5ージアミノナフタレン	平成元年12月28日	蓄積性がない又は低いと判断される化学物質

物質情報

構造式



CAS番号	2243-62-1
点検対象物質名称	1，5ージアミノナフタレン

官報公示整理番号	官報公示名称
4-323	1，5ージアミノナフタリン

分解性

判定	難分解性
試験方法	標準法

試験装置	試験期間	試験物質濃度	活性汚泥濃度
標準	4週間	100ppm	30ppm

間接測定	BOD
	0%

直接測定	HPLC
	3%

濃縮性

判定	低濃縮性
試験方法	濃縮度試験

48TLm値(48hr)	魚種
31.5mg/L	ヒメダカ

試験装置	試験期間	魚種	脂質含量(%)
標準	6週間	コイ	3.8

	濃度設定	濃縮倍率
第1濃度区	200μg/L	<0.4 ～ 1.5
第2濃度区	20μg/L	<4.5

総合検索システムへ
2243-62-1

前画面に戻る

Copyright 2002(C) National Institute of Technology and Evaluation All rights reserved.

独立行政法人
National Institute of Technology and Evaluation 製品評価技術基盤機構

既存化学物質安全性点検データ

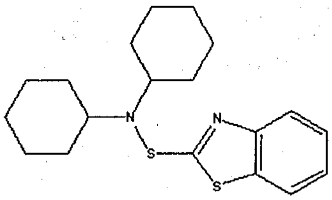
データの説明 分解性 濃縮性

経済産業公報(平成13年1月5日以前は通産省公報)公表内容

公表名称	公表年月日	点検結果
N, N−ジシクロヘキシル−1, 3−ベンゾチアゾール−2−スルフェンアミド [官報公示整理番号:5-256] [CAS番号:4979-32-2]	平成17年12月22日	難分解性かつ高濃縮性であると判断される物質

物質情報

構造式



CAS番号	4979-32-2
点検対象物質名称	N, N−ジシクロヘキシル−2−ベンゾチアゾリルスルフェンアミド

官報公示整理番号	官報公示名称
5-256	N−モノ又はジシクロヘキシル−2−ベンゾチアゾリルスルフェンアミド

分解性

判定	難分解性
試験方法	標準法

試験装置	試験期間	試験物質濃度	活性汚泥濃度
標準	4週間	100mg/L	30mg/L

間接測定	BOD
	0, 0, 0 (0)%

直接測定	HPLC
	4, 6, 0 (3)%

濃縮性

判定	高濃縮性
試験方法	濃縮度試験

48TLm値(48hr)	魚種
>130mg/L	ヒメダカ

試験装置	試験期間	魚種
標準	8週間	コイ

	濃度設定	濃縮倍率
第1濃度区	1000μg/L	15 ～ 80
第2濃度区	100μg/L	74 ～ 316
第3濃度区	10μg/L	331 ～ 916

備考

・第1濃度区は10週間で試験を終了した。
[脂質含有量]
第1、2濃度区 3.9%
第3濃度区4.0%

	濃度設定	濃縮倍率
第1濃度区	1μg/L	1150 ～ 3950
第2濃度区	0.1μg/L	3380 ～ 7310

備考

[脂質含有量]
第1濃度区 4.0%
第2濃度区 3.7%

濃縮性2

判定	高濃縮性
試験方法	濃縮度試験

LC50値(96hr)	魚種
>250mg/L	ヒメダカ

試験装置	試験期間	魚種	脂質含量(%)	
			開始前	終了後
標準	42日間	コイ	2.58	2.1

	濃度設定	濃縮倍率(BCF_{SS})
第1濃度区	0.01μg/L	6000

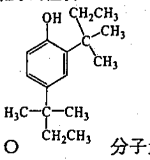
総合検索システムへ
4979-32-2
前画面に戻る

Copyright 2002(C) National Institute of Technology and Evaluation All rights reserved.

整理番号 K－1759　(NEDO 334, 3－0526)

2,4－ジ－*tert*－ペンチルフェノール　(120-95-6)

構造式（示性式）・物理化学的性状



分子式 $C_{16}H_{26}O$　分子量 234.38

純　度　①98.4%*1　②99.7%*2	外　観　黄色液体
不純物（物質名，含有率） ①不明 1.6%*1 ②残り 0.3%は不明*2	溶解度（対水，その他） 対水 4.59 mg/L(25℃)（フラスコ法） 5.45 mg/L(20℃)（カラム溶出法） 対テトラヒドロフラン 10 g/L 以上
融　点　26.2℃	1－オクタノール／水分配係数 log Pow = 5.6(HPLC 法)*4
沸　点　291.5℃	
蒸気圧　9.49×10¹ Pa(25℃)	加水分解性 pH4,7,9　加水分解性なし
比　重*3　d_4^{20}　0.930	
LD50*3　330mg/kg(oral, rat)	解離定数 pKa = 11.86 (20℃) (分光光度法)
IRチャートの有無　㊒・無	
用　途*5　添加剤（樹脂用・油用）、その他(電子材料等製品用)	
生産量*5（16年）製造及び輸入　1,000～10,000 t 未満	
試　料　購入先　①ACROS ORGANICS　②東京化成工業	
経済産業公報発表年月日　年　月　日	

分解度試験	分解度試験	分解度試験
事業対象年度　平成17年度	契　約　年　月　日	契　約　年　月　日
試験期間　17. 7.11～17.11. 7	試験期間　. . ～ . .	試験期間　. . ～ . .
試験装置　㊕・揮	試験装置　標・揮	試験装置　標・揮
試験濃度	試験濃度	試験濃度
被験物質　100 mg/L	被験物質　mg/L	被験物質　mg/L
汚　泥　30 mg/L	汚　泥　mg/L	汚　泥　mg/L
本試験期間　4 週間	本試験期間　週間	本試験期間　週間
試験結果　間接　BOD　-7, -6, -6　(0)%	試験結果　間接	試験結果　間接
試験結果　直接　HPLC　4, 2, 4　(3)%	試験結果　直接	試験結果　直接
審査部会　第49回 17年11月18日開催	審査部会　第　回 年　月　日開催	審査部会　第　回 年　月　日開催
判　定　難分解性	判　定	判　定

備　考

1. 回収率
（水＋被験物質）系　94.4%
（汚泥＋被験物質）系　95.2%

2. 実施機関
・財団法人 化学物質評価研究機構

3. 特記事項
・分解度の平均値が負の値に算出されたため、0と表記した。

・被験物質残留率（%）

	試験液	ソーダライム	合計
水系	84	0	84
汚泥系-1	96	1	97
-2	98	0	98
-3	96	1	97

・被験物質は一部ソーダライムに吸着した。

備　考

*1 ACROS ORGANICS 添付資料による。　*2 東京化成工業添付資料による。　*3 The Sigma-Aldrich Library of Regulatory and Safety Data による。
*4 溶離液：メタノール／りん酸緩衝液(pH3.0) (3/1 v/v)　*5 化学物質の製造・輸入量に関する実態調査による。　①分解度試験　②分配係数試験及び濃縮度試験

濃縮度試験　事業対象年度　平成19年度

試験期間　19. 5. 11 ～ 19. 9. 10

試験装置 ㊕・揮　LC50 値　0.964mg/L(96hr)魚種(ヒメダカ)

水槽設定濃度　(μg/L)

	被験物質	分散剤 HCO-40	分散剤 *N,N*-ジメチルホルムアミド	
第1濃度区	5	25	20000	
第2濃度区	0.5	2.5	20000	
第3濃度区				

濃縮倍率　脂質含有率　開始前 4.51%　終了後 4.26%　魚種(コイ)

		12日後	25日後	39日後	50日後	60日後
第1	水槽濃度(μg/L)	4.42	4.36	4.32	4.83	5.10
第1	倍率	220	330	420	360	310
第1	倍率	220	340	450	330	340
第2	水槽濃度(μg/L)	0.454	0.460	0.421	0.454	0.473
第2	倍率	320	320	310	410	340
第2	倍率	260	220	320	320	270
第3	水槽濃度( )					
第3	倍率					
第3	倍率					

審査部会　第70回　19年　12月　21日　開催

判定結果

備　考

[定常状態における濃縮倍率]　第1濃度区　350倍
第2濃度区　330倍

[回 収 率]
試験水　89.0%
供試魚　79.0%

[定量下限濃度]
試験水　第1濃度区　0.30 μg/L
第2濃度区　0.030μg/L
供試魚　17 ng/g

[実施機関] 財団法人 化学物質評価研究機構

濃縮度試験　年　月　日

試験期間　. . ～ . .

試験装置　標・揮　LC50 値　mg/L(　hr)魚種(　)

水槽設定濃度　(　)

	被験物質	分散剤		
第1濃度区				
第2濃度区				
第3濃度区				

濃縮倍率　脂質含有率　開始前 %　終了後 %　魚種(　)

		日後	日後	日後	日後	日後
第1	水槽濃度( )					
第1	倍率					
第1	倍率					
第2	水槽濃度( )					
第2	倍率					
第2	倍率					
第3	水槽濃度( )					
第3	倍率					
第3	倍率					

審査部会　第　回　年　月　日　開催

判定結果

備　考

毒性試験

依頼　年　月　日

経過

National Institute of Technology and Evaluation 独立行政法人 製品評価技術基盤機構

既存化学物質安全性点検データ

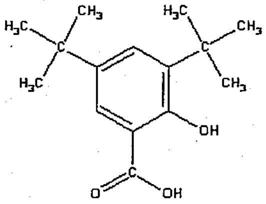
データの説明 分解性 濃縮性

経済産業公報(平成13年1月5日以前は通産省公報)公表内容

公表名称	公表年月日	点検結果
3, 5－ジ－tert－ブチル－2－ヒドロキシ安息香酸 [官報公示整理番号:3-3034] [CAS番号:19715-19-6]	平成15年10月14日	難分解性と判断される物質
3, 5－ジ－tert－ブチル－2－ヒドロキシ安息香酸 [官報公示整理番号:3-3034] [CAS番号:19715-19-6]	平成17年12月22日	難分解性であるが高濃縮性ではないと判断される物質

物質情報

構造式



CAS番号	19715-19-6
点検対象物質名称	3, 5－ジ－tert－ブチルサリチル酸

官報公示整理番号	官報公示名称
3-3034	3, 5－ジ－t－ブチルサリチル酸

分解性

判定	難分解性
試験方法	標準法

試験装置	試験期間	試験物質濃度	活性汚泥濃度
標準	4週間	100mg/L	30mg/L

間接測定	BOD
	0, 0, 0 (0)%

直接測定	HPLC
	0, 2, 0 (1)%

濃縮性

判定	低濃縮性
試験方法	濃縮度試験

LC50値(96hr)	魚種
5.82mg/L	ヒメダカ

試験装置	試験期間	魚種	脂質含量(%)	
			開始前	終了後
標準	28日間	コイ	3.38	3.02

	濃度設定	濃縮倍率
第1濃度区	50μg/L	<= 2.4 ～ 4.1
第2濃度区	5μg/L	<= 23

National Institute of Technology and Evaluation 独立行政法人 製品評価技術基盤機構

既存化学物質安全性点検データ

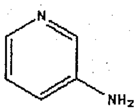
データの説明 分解性 濃縮性

経済産業公報(平成13年1月5日以前は通産省公報)公表内容

公表名称	公表年月日	点検結果
3ーアミノピリジン	昭和57年12月28日	濃縮性がない又は低いと判断される化学物質

物質情報

構造式



CAS番号	462-08-8
点検対象物質名称	3ーアミノピリジン

官報公示整理番号	官報公示名称
5-725	3ーアミノピリジン

分解性

判定	難分解性
試験方法	標準法

試験装置	試験期間	試験物質濃度	活性汚泥濃度
標準	4週間	100ppm	30ppm

間接測定	BOD
	0%

直接測定	TOC	HPLC
	1%	0%

濃縮性

判定	低濃縮性
試験方法	濃縮度試験

48TLm値(48hr)	魚種
8.1ppm	ヒメダカ

試験装置	試験期間	魚種	脂質含量(%)
標準	6週間	コイ	5.7

	濃度設定	濃縮倍率
第1濃度区	200ppb	<0.2
第2濃度区	20ppb	<2.1

総合検索システムへ 462-08-8

前画面に戻る

Copyright 2002(C) National Institute of Technology and Evaluation All rights reserved.